

I 地域における子育て支援	II 地域の保育関連施設及び関係機関との連携	III 保育のセーフティネット機能
<p>&lt;総合事業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域交流の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施と隔月身体計測事業</li> <li>・栄養、保健、保育士による専門性を活かした相談（離乳食、発達、遊び方などの相談を受ける）</li> <li>・〇プレママ・プレパパ、プレババ・プレジジ対象事業での保育体験や情報の提供等</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;子育て交流の場の提供と交流促進&gt;</p> <p>○公園で散歩の際、地域の子どもを含めた遊びの展開</p> <p>&lt;地域組織の活性化への取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●“わくわく塾”に出向き、手遊びやペープサートを演じたり、相談に応じる</li> <li>●保健師、栄養士が児童館学童に出向き、保護者や職員に指導。（応急処置、栄養相談等）</li> <li>●ファミリーサポート支援者の研修に、園長や主査が出向き講演</li> </ul> <p>&lt;総合的な情報提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の保育施設の情報収集と適切な提供</li> <li>●保健師、栄養士が自治会に出向き講演</li> </ul>	<p>&lt;関連施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●保育園（公立、私立、認可、無認可）、幼稚園との合同研修と情報交換</li> <li>●関係機関との連携（学童、小学校、保健センター、子ども家庭支援センター、発達支援室、ひとり親、ししょうがい者支援課など）</li> <li>●庁舎内に子供たちの作品を展示するなどの取り組みで、保育園を身近に感じてもらう取り組み。</li> </ul> <p>○地域の関係機関（児童館、高校、大学）や他分野（高齢者等）との連携</p> <p>○新保育園との交流を行う</p> <p>&lt;地域内の保育施設等への支援&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭的保育担当者へのアレルギー食講習や指示書の説明や指導（27年度実施）</li> <li>●地域内の保育施設（家庭的保育）への運営支援（実習）</li> </ul> <p>○家庭的保育との連携。保育園での行事などに参加や健診の参加（28年度1園実施）</p>	<p>&lt;市の保育行政の指標となる取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●マニュアル（アレルギー、感染症、事故、緊急時）の作成</li> <li>○国立市の保育方針（理念等は平成27年度作成）（守っていききたい国立市の保育、幼児期の方針）</li> <li>○“くにたちの未来”を活用</li> </ul> <p>&lt;障害児及び要保護児童への積極的取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●関係機関（発達支援室、保健センター、児童相談所、子ども家庭支援センター）との連携</li> <li>●多摩療育園、都立小児医療センター、すみれクリニック等、外部機関との連携</li> </ul> <p>&lt;災害発生時の対応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国立市立保育園の安全対策についてのマニュアルに添い対応</li> <li>●AEDを設置（27年度）し、市民への提供職員の救命救急法の実践研修</li> <li>●確実な保護者への引き渡し</li> </ul>

○公立保育園の新たな展開施策として検討すべき事項

I 地域における子育て支援機能	II 地域の保育関連施設及び関係機関との連携	III 保育のセーフティネット機能
<p>&lt;相談事業&gt;</p> <p>○総合相談 コンシェルジュ（ワンストップ相談）</p> <p>○かかりつけ保育園（マイ保育園）、各保育園に地域担当を置く 出前保育や訪問</p> <p>○休日の父親を対象とした交流、支援、相談事業</p> <p>&lt;総合的な情報提供と利用支援&gt;</p> <p>○地区担当保育者による地域における出前講義等</p>	<p>&lt;連携拠点（コーディネーター）機能&gt;</p> <p>○地域や世代間の交流</p> <p>高齢者施設、市内の大学、小学生のつどい、商店街など</p> <p>○保育フェスティバルの開催</p> <p>栄養士、保健師、保育士の情報交換及び公私立の交流</p> <p>○小学1年生以上の子ども達が集える場の提供</p> <p>○幼児教育コーディネーターによる指導を受け、国立市内の保育の質の向上</p>	<p>&lt;災害発生時の対応&gt;</p> <p>○災害発生時の応急保育への取り組み、保育園施設の強みを活かして、市民の受け入れや備蓄品の確保等</p>